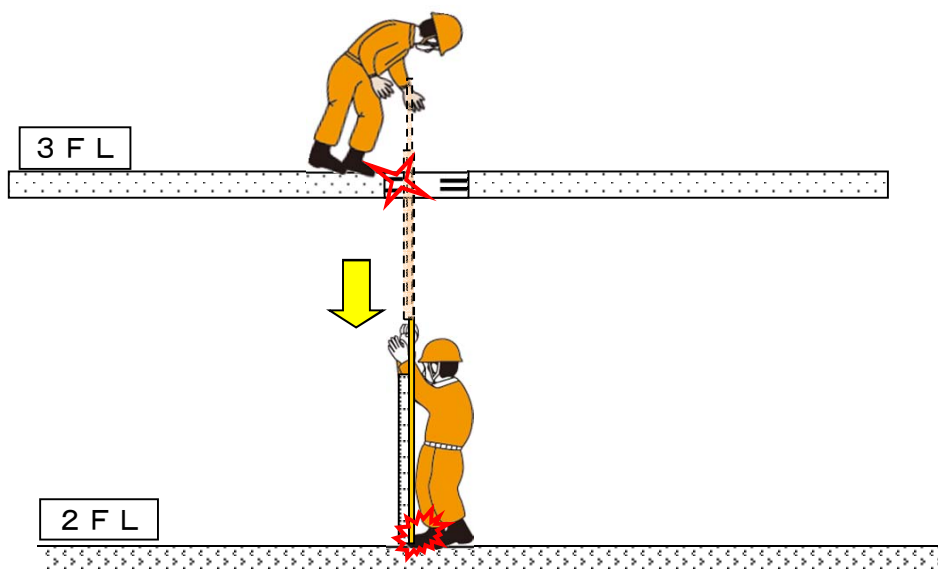


『型枠を手渡しで荷上げ中、枠が落ちて左足に当り負傷』

発 生 年 月	平成 年8月
時 刻	16:35 頃
被 災 者	型枠工 39歳
傷 病 名 等	左足部打撲・挫傷（不休災害）

- ◎ 発生状況 ・15:30頃より、被災者は同僚と型枠材を2FLから3FLへ荷上げする作業を始めた。型枠の荷上げは、2FLスラブのダメ穴(1.00×0.45m)を利用して行っていたが、16:35頃、梁型枠(1.80×0.45m 型枠の一部に栈木が付いているもの)を荷上げ中、被災者は、上に居る同僚に枠材を渡して手を離し、次の作業に移ろうとしていたところ、同僚が型枠材を引き上げる際、栈木がダメ穴部の鉄筋に引っかかり、その反動で型枠材から手が離れたため落下し、下に居た被災者の左足に当たり負傷した。
- 被災者は安全靴を履いていたが、負傷した位置が強固なつま先部より足首側であった。

◎ 被災状況



◎ コメント

- ・共同作業時の声掛け合図が不十分であり、事前に合図方法等が打合せされていなかった。
- ・被災者は次の作業を行おうと、落下の危険があるダメ穴開口部からの退避が遅れた。
- ・定番的な作業におけるリスクの洗い出し不足と、対策の検討不足。